

環境に係る情報協議会 国営緊急農地再編整備事業 大雪東川地区

1. 事業の概要(案)

◆事業の目的

本地区は、小区画、不整形及び排水不良なほ場が多く、効率的な農作業が行えない状況にある。また、農業者の高齢化や後継者不足により経営耕地の分散化が進行し、耕作放棄地が発生することが懸念されている。

このため、本事業により区画整理を行い、農地の土地利用を計画的に再編し、さらに、担い手への農地の利用集積を進めることにより、緊急的に生産性の向上と耕作放棄地の発生防止による優良農地の確保を図り、農業振興を基幹とした総合的な地域活性化に資することを目的としている。

◆受益面積 3, 000ha

◆主要工事計画 区画整理：3, 000ha

2. 東川町の環境に対する考え方

◆農村環境の現状と課題

《現状》

○東川町は、豊かで雄大な環境をもつ大雪山国立公園の町であり、この田園風景や環境は町民の生活に深く根付いている。

《課題》

○大雪山国立公園の優れた自然環境の保全。

○自然との共存に配慮した治山治水対策と持続可能な開発。

※東川町田園環境整備マスタープランより

3. 環境配慮のための環境調査

◆環境保全の基本的な考え方

・「次世代に継承する美しい東川の風景づくり」を基本目標とし、優れた自然の評価、保全に配慮する。また、豊かな自然環境を活用した町づくり、大雪山の雄大な風景と調和する田園景観づくりを目指していく。

◆基本方針

・地区の自然生態系や動植物の生息、生育状況を把握するため、既往調査結果の活用及び現地調査を実施する。

・工事実施中の水質への影響の有無を確認するため、工事実施前のデータ収集として、水質調査を実施する。

◆環境調査内容

○調査項目 ①哺乳類 ②鳥類 ③魚類 ④両生・爬虫類

⑤昆虫類 ⑥底生動物 ⑦植物 ⑧水質

○調査方法 哺乳類：目撃法、フィールドサイン法

鳥類：ポイントセンサス法

魚類：採捕調査

両生・爬虫類：目撃法

昆虫類：任意採集法、ベイトトラップ法
ライトトラップ法

底生動物：定性採集調査

植物：植物相調査

水質：SS、濁度